

“Dance with Heart”
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
The Kikunokai Dance Troupe
Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
03-5983-6001 (代表)
菊の会京都八瀬研修所
〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町 10
075-712-8701 (代表)
http://www.kikunokai.co.jp

Dancing from the heart



デトロイト美術館 正面入口にて

舞踊集団 菊の会
代表 畑 聡

ご挨拶

皆様におかれましては、益々御清栄に
お過ごしのお慶び申し上げます。
本年は五年後にお慶び申し上げます。
新しい出発の年となります。
新団員一人一人が芸の向上と舞踊団並
に各教室の充実・発展を目指し更なる
努力を致す所存です。
何卒変わらぬ御指導御鞭撻を賜りま
す様、お願い申し上げます。

菊の会創立45周年記念公演『躍る風譚』

構成・演出・振付
畑 聡



狂言舞踊「素襖落」



箏曲「縁は回る」



「躍る風譚・早春」

第一部では箏曲『縁は回る』、
狂言舞踊『素襖落』(尾上菊
十郎丈指導)を上演しました。



「躍る風譚・初秋」



「躍る風譚・初秋」



「躍る風譚・春」



「躍る風譚・晩秋」



デトロイトの交流会にて
生徒さん達との交流会にて
はリベラコート(美術館で最も有名
な場所)での踊りです。そこは
来館者とイベント開催に精力を費
やしてきた関係者が一つになり、
我々も経験したことのない夢のよ
うな「沸き立つ美術館」になって
いました。そして二日間の来館者
数は7000人以上という大成功
の記録が残りました。



アメリカでトップランクの規模、デトロイト美術館で
日本ギャラリー開設記念公演に菊の会が舞う



デトロイト美術館
館長
サルバドレ・
ポンス

デトロイト美術館 (DIA) は全米でもトップランクの有数の美術館です。
2013年、デトロイト市の財政破綻で当美術館も破綻を経験しましたが、
2014年秋、歴史的な再生計画「グランドバーゲン」の成功により独立行政法
人として道を歩めました。この時、支援してくれた日本コミュニティと進めてきた、
「常設日本ギャラリー」が11月2日に無事オープンできました。ギャラリーでは
「静と動」というコンセプトで美術品の展示をし、日本文化の面白さを来館者に
伝えています。

平成30年菊の会公演予定 INFORMATION

- ◆『日本のおどり』
日時：2月17日(土) 14:30 / 18:30 開演
会場：キラリ☆ふじみ (メインホール) [埼玉県富士見市]
 - ◆『日本のおどり』 早春に舞う
日時：3月3日(土) 14:00 開演
会場：流山市生涯学習センター [千葉県流山市]
 - ◆『日本のおどり』
日時：4月14日(土) 14:00 開演
会場：京都府立文化芸術会館 (ホール) [京都市上京区]
 - ◆『日本のおどり』 陽春に舞う
日時：4月30日(月・祝) 14:00 開演
会場：サンシティ越谷市民ホール(小ホール) [埼玉県越谷市]
- (※予定を変更する場合がございます。何卒ご了承下さいませ。)

舞踊集団 菊の会 事務局 〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 Tel 03-5983-6001 / Fax 03-5983-6002

菊の会

http://www.kikunokai.co.jp/





駐ペルー日本国特命全権大使
株丹 達也

舞踊集団菊の会の皆様により、ペルーの首都リマにお出でいただき、文化庁の助成により国立劇場及び日秘劇場において華麗で力強い日本の踊りをご披露いただきました。ペルーの皆様からは、色の鮮やかさ、踊りの完成度の高さ、会場との一体感

舞踊集団 菊の会 創立45周年記念 チリ・ペルー公演

文化庁 平成29年度国際交流支援事業



駐チリ日本国特命全権大使
平石 好伸

2017年は、1897年に日本とチリが修好通商航海条約を締結してから120周年にあたる佳節になります。この記念すべき年に、遠路遙々、菊の会の皆様はチリにお越し頂き、素晴らしい舞台を披露して下さったことにまずもって心より感謝致します。
この1年間、日本・チリ双方において、年間を通じて数多く



ペルー国立劇場正面入り口

フェデリコ・サンタマリア大学前



ペルー国立民族舞踊団との交流会



チリ・バルパライソの海岸を背景に

日本・チリ国交樹立120周年 チリで初となる 菊の会公演が大成功!!

の120周年記念事業が実施されました。秋篠宮同妃両殿下のチリ御訪問をはじめとする活発な要人往来など、政治、経済、文化等幅広い分野で様々な交流が進み、国民間の相互理解が一層深まる年になりました。
菊の会の皆様は、初めてのチリ公演を通じて、この記念すべき年を大いに盛り上げて下さいました。サンティアゴ及びバルパライソの二都市での公演は、何れも日本の本格的な舞踊を楽しむに駆け付けたチリの観衆で満場となりました。優雅且つ力強く迫力溢れる踊り、
更には狂言に基づいたユーモラスな舞台は、人種、性別や言葉の壁を超え、会場を大いに沸かせました。私自身については太郎冠者の「釣り上げた」お嫁さんの愛くるしい笑顔と仕草が今でも夢に出て来るので、寝ながら笑ってしまい結果眠りの浅くなる日々を送っております。
とりわけ、フィナーレの阿波踊りで演者の皆様を観客席に雪崩込み、満場の観衆と一体となる様子は、チリを含め中南米各地に伝わるカーニバルにも似た様相であり、正に圧巻でありました。畑聡代表をはじめ



平石大使御夫妻と畑代表、飯田副代表

菊の会の皆様は、あくまでも古典舞踊を基本としながらも、常に独創的なアイデアを取り入れ、日本古来の美と心を自ら体現され、遠く離れたチリの地で観客と心を通わせる、誠に感動的なひとときに私も十二分に酔わせて頂きました。
また、各会場関係者からは、時間厳守の徹底、丁寧かつ迅速



「釣女」



群馬県 大泉町長
村山 俊明

大泉町発足60周年記念事業 「日本のおどり」 大泉町公演 決定によせて

この度、来る2月12日(月)に、大泉町発足60周年記念事業として、「大泉町文化むら」にて、世界中でご活躍されている舞踊集団菊の会の皆様による「日本のおどり」の公演が決定いたしました。本町の還暦祝いに、大いに花を添えていただきますことを心よりご期待申し上げます。

さて、大泉町のことを少しご紹介させていただきますと、総面積18.03km²の、群馬県下で一番小さな町でございますが、日本有数の優良企業が複数進出し、県内屈指の製造品出荷額等を誇る工業都市として今も発展を続ける町でございます。

今回の公演にあたり、畑代表と直接お会いし、誠実に気取らないお人柄に惹かれ、また、菊の会の公演を実際に拝見し、その魅力を肌で感じた私といたしましては、この記念すべき年に開催できますことを大変誇らしく思うと

もに、実現に向けご協力いただいた関係各位にこの場をお借りして、深く感謝申し上げます。
大泉町でご公演いただくのは、平成20年に「日伯交流年ブラジル移住100周年記念公演」以来、約10年振りでございます。

我が町の「文化都市宣言」の中には「素晴らしいものに感動する心を持った町民になりましょう」とあります。この機会に菊の会が醸し出す芸術性の高い世界の中にも万人に通じるユーモアを交えたステージをご覧になってみてはいかがでしょうか。遠方からのお客様のお越しもお待ちしております。

結びに文化財産である「日本のおどり」を堂々と体現する菊の会の限らない飛躍をご期待申し上げ、心からエールを送らせていただきます。

が非常に素晴らしかったなど大変高い評価をいただきました。チリでのご公演のお疲れもみせず、総勢25名と大規模な形で菊の会の持つ魅力を余すところなくペルーの皆様へ届けていただけたことに心から感謝しております。
今回の菊の会の公演は突然決まったわけではありません。2015年11月の日本文化週間における菊の会の皆様の公演をきっかけとして、ペルー日系人協会との交流が始まりました。その後、団員の神藤様と工藤様には3ヶ月に一度というハイペースでペルー日系人協会において本格的に日本舞踊を学ぼうとする生徒さん達を直接かつ



株丹大使御夫妻と在ペルー日本国大使公邸に於いて

ペルー日系人協会設立100周年 ペルーに咲いた大輪の菊

集中的に指導していただきまして。外見からは想像しにくいお二人のガッツに頭が下がる思いです。今では菊の会のお弟子さんが多く、観客の前で踊りを披露し、大喝采を受けるところまで成長されておられます。これらの活動により、舞踊集団菊の会の皆様とペルーとの絆は一層強くなり、協会創立100周年を記念する素晴らしい公演に繋がりました。
ペルー大統領夫人のナンシー様は皆で日本に住んでおられたこともあり、日本文化に対する深い造詣をお持ちです。そこで、大統領夫人のお時間を頂き、神藤様、工藤様と菊の会の活動をご紹介させていただきました。大統領夫人からは、日本の本格的な文化をもっとペルーに伝えて欲しいというお話がありました。その意味でも今回の公演は、とても貴重なものでした。
今後益々の「菊の会」のご活躍ご発展を心から祈念致します。



菊の会公演を待つ、満席のペルー国立劇場